

スポット

自分の未来を描く

マツダは4月1日、南区大州の同社体育館で入社式を開き、晴れやかに総勢508人を迎えた。

ステージ横にロードスターと、1930年代に造られた三輪トラックを並べ、創立105年の歴史を表現。毛籠勝弘社長は、「社会人生活のスタートに当たり、自分の未来を描く。私からの提案です。20代で何をしたいのか、30、40代はどう生き、50代でどんな自分になっていたのか。仕事では技術を極めるスペシャリストか、それとも幹部を目指すのか。今、何をしたらいいか分からない人も、まずは考えること。そのプロセスが大切なのです。私自身も若い頃の想像とは全く異なる道歩んでいますが、当手を振り返る



中四国最大級の会計事務所
業務拡大で新事務所を開設

税理士法人山根総合会計事務所

ことで、自分の原点を再認識できるのです」開式前の待ち時間には神楽団が舞を披露。全国から集まった新入社員に伝統文化を知ってもらい、広島への愛着を育む狙いという。彼らが長く、力強く活躍してくれることがマツダはむしろのこと、街を元気にする原動力になる。

レシピ動画の威力

SNSを駆使するマーケティング戦略が当たった。スプラウト(発芽野菜)生産の村上農園(佐伯区)は、前12月期に過去最高の売り上げ113億円を計上。同社食材の料理



全国有数の医療総合社
専業に引けを取らない体制

ティーエスアルフレッサ(株)

方法を紹介する動画が拡散され、販売を後押しした。

共働き世帯の増加に伴い、簡単に調理の手順が分かる、レシピ動画の人気とうまくマッチ。同社のユーザーチャンネルは2020年の開設から登録2万69000人、合計視聴880万回とな

り、影響を増す。

健康志向を受けて看板商品のプロッコリー(スープ)スプラウトは昨年、SNSのトレンド入りするほど注目を集めた。今年2月末に主婦の友社が発刊したレシピ付きの特集本など、多くの雑誌や情報番組でも取り上げられている。村上清貴



復職・就職支援のプロ集団
リワークセンター全国50拠点

(株)Rodina

社長は、「がん予防の成分に加え、抗酸化やミトコンドリアを元気にする効果も期待できることが大学などの研究で判明。これで勢いが付いた。毎日の食習慣としてもらえるよう広めていきたい」人のためになる商品を作り、広告して多く売ることを善とした近江商人の時代から引き継がれている商いの鉄則なのだろう。

ミナモアに共創拠点

3月24日開業した広島新駅ビルの商業施設「ミナモア」3階に物販や飲食を兼ねた共創拠点「ミオバイドッツ」が



医薬品の安定供給を支える
中国地方トップシェア

(株)セイエル

オープン。記念イベント「縁側ピッチNINGHT」に144人が集まった。開業に携わった経営者や学生ら31人がリレー形式で講演。4時間にわたり、それぞれの思いを語った。運営母体のDOTSは昨年6月、広島ホームテレビ、広島ベンチャーキャピタル、企画コンサル会社ミナサカの共同出資で設立された。県内23市町の商品を展示する棚を設けたほか、ほぼ毎日夕方15分ほど県内外で活躍中の個人や団体によるピッチイベントなどで地域の魅力・情報を発信する。

講演で砂谷副社長の久保宏輔さんは、「いろいろな人と出会い、思いを語り合うことが大切だと思う。理想の牧場をつくる仲間探しにつなげたい」DOTSとミナサカの代表を兼務する谷口千春さんは、

「学生や企業、行政も含め、みんなで地域プロデューサーの役割を果たし、地域を盛り上